広報ひらつか

平塚空襲50年特集号

平成７年７月15日（特集第50号）

発行・神奈川県平塚市　編集・企画部広報広聴課

〒254 平塚市浅間町９番１号　電話23-1111・35-1111

平塚空襲50年

平和を考えよう

終戦間もない平塚駅周辺

―平塚市博物館所蔵―

特集号の発行にあたって

平塚市長　吉野稜威雄

平塚市は、先の第二次世界大戦において度々空襲を受けていますが、昭和二十年七月十六日の空襲により旧市域の約七〇％が焼失するという不幸な歴史があります。

以来五十年、戦災復興事業、都市改造事業等が行われるなど、先人たちのたゆまない御尽力があり、今日のような湘南地域の中核都市として発展を遂げることができました。

この間、昭和六十年十二月二十日に「核兵器廃絶平和都市宣言」を行い、機会あるごとに広く市の内外に平和の尊さ、大切さを訴えて、「I LOVE PEACE」を合い言葉に、市民の皆さんの御協力もいただき平和推進事業を積み重ねてまいりました。

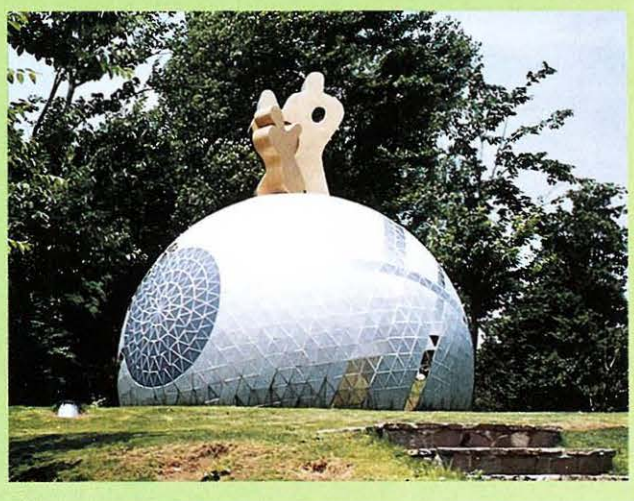
今年は、平塚空襲から五十年、戦後五十年及び核兵器廃絶平和都市宣言から十年という節目の年に当たります。

このたび、米国国立公文書館等から終戦間もない資料を入手いたしましたので、市民の皆さんにご覧いただくとともに、平塚市の平和推進事業についてお知らせするため、ここに広報ひらつか特集号を発行いたします。

今後とも恒久平和の実現を願い平和事業を市民の皆さんとともに推進してまいりたいと存じますのでよろしくお願い申し上げます。

平和モニュメント マザーアース

このモニュメントは、市制施行60周年を記念し、平成５年３月、総合公園の出会いの池西側に制作設置しました。美しい地球と幸せな家族をイメージしたもので、恒久平和の実現の願いがこめられています。



核兵器廃絶平和都市宣言

わたくしたちのまち平塚は、過去に戦災を被り市域の多くを焼失した悲しい歴史をもっています。そして今のわたくしたちには、こうした惨禍をくり返すことのないよう、平和を守り次代へ引き継いでいく責務があります。

しかし、現在地球上には、数多くの核兵器が蓄えられ、人類に深刻な脅威を与えています。

世界の平和と安全は、すべての人の願いです。平塚市は、「国際平和の年」を迎えるにあたり、美しい地球と輝かしい未来を守るため、国是である非核三原則の順守とあらゆる核兵器の廃絶を願い、「核兵器廃絶平和都市」を宣言します。

昭和六十年十二月二十日

平塚市

繰り返すことのないよう、戦災の記録

平塚大空襲

平塚市は、昭和二十年七月十六日から十七日の未明にかけ、B29爆撃機百三十二機により大規模な攻撃を受けました。いわゆる「平塚大空襲」です。

平塚が空襲されたわけは、戦時下の平塚が航空関連工業の重要地点であったこと、海軍兵器工場・航空技術の研究機関が集中する地点であったこと、横浜～横須賀～平塚を結ぶ神奈川県の主要工業三角都市の西の拠点であったことなどが理由でした。

この空襲は、十六日午後十一時三十二分から十七日午前一時十二分までの間に実施されています。この時、B29から投弾されたしょう い弾は、全部で四十四万七千七百十六本を数えます。この数は、一夜の投弾数としては、全国で一、二を争う数になり、その結果、死者二百三十七人、重軽傷者二百六十八人、り災戸数七千六百七十八戸の被害を受けました（神奈川県警察調べ）。

（平塚市博物館図録より）

▼現・平塚二丁目の東海道本通りを大磯方向に向かう人々

▼現・平塚二丁目から見附町方面を見た東海道本通り

▲荷車を引く人々（現・市民プラザ前付近）

◀現・明石町から見た大門通り交差点

◀現・平塚二丁目付近（東海道本通りわきに立つ警察官と子供たち）

▼ジープに腰かけた米軍兵士と会話をする子供たち

◀空襲で破壊された自動車

◀米軍兵士に道を聞かれる男性

平塚空襲の体験

菊地　節子さん（老松町）

昭和二十年七月十六日夜の平塚空襲の体験は、青春まっただ中の私にとっては、忘れることのできない苦い思い出です。

その日、母は下島の親せきの畑の手伝いに行き、歩いて馬入の自宅まで帰ってきていました。その夜です。空襲警報が鳴るや否や、西の花水川、東の馬入川の空に照明弾が落とされ、町は昼間のように明るくなりました。ああ、今夜で命も終わったかと思いましたが、考える間もなく、庭に造ってあった四畳半位の広さの防空ごうに、寝ていた布団を家族リレーで投げ入れました。その速さは驚くほど。

私たちは、荷物のごうとは別の防空ごうに入り、空を見ていると、しょうい弾の雨がザーと次々に投下され、西からも東からも火の手があがり真っ赤でした。近所の男の方がごうに入れさせてくれと来ましたが、その方の話では、女子供は皆逃げて私たちだけとのことで、火攻めになったら消火作業の足手まといになるから逃げた方がよいということになり、家は守るから車体）裏の田んぼまで逃げましたが、またしょうい弾の雨。まさきの垣根にへばり付いて身を寄せていると、近くの豚小屋のところで悲鳴。かわいそうに、直撃にやられたのでしょう。

恐怖の一夜は、空襲、大火災とともに明けました。次第に火の手も下火になり家は、離れや庭の木が燃え、古い母屋だけ無事でした。父と近所の方の五人程でバケツリレーで消し止めたそうです。お陰で我が家から五軒ほどは類焼を免れ焼け残りました。しかし、家の回り廊下から向こうは、一面の焼け野原。涙ばかり出ました。父の友人は、海岸方面で直撃に合い、母娘を一度に亡くされました。私の命が有ったのが不思議なくらいです。

今日の幸せな時代が来るとは、あの時、全く想像もつきませんでした。平和こそこの上無き幸せと思います。空襲、しょうい弾を受けた怖い体験は、もう二度とあってはならないと思います。

との父の言葉を耳に、母と妹と夏布団一枚をかぶって、しょうい弾の落下を見ながら、物陰伝いに火の手の上がらない暗い方へと逃げました。

しかし、途中、しょうい弾がザーと落ちて来ると、たちまち私たちは、バラバラ。すぐ呼び合って無事を確かめながら日国（現日産くすぶる煙の中、家は、父は、白々と夜が明けるにつれ、心配は募るばかり。そのうち、もう大丈夫、そろそろ我が家に戻ってみようと、くすぶって熱い中を歩きました。父も無事でしたが、必死の消火作業を行ったのでしょう、父の目は、うさぎの目よりも真っ赤でした。

—平和の文集より抜粋—

悲しい歴史

平塚空襲50年

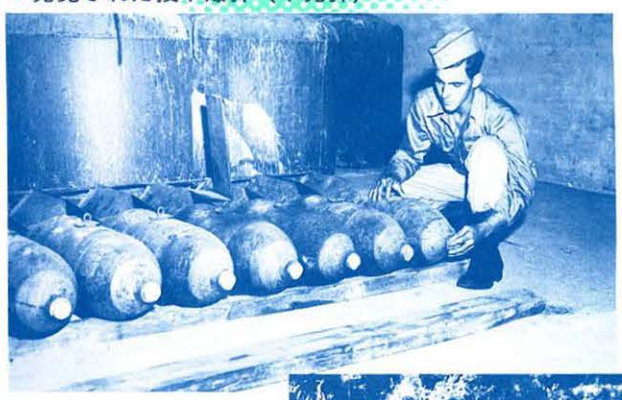
現・総合公園東側県道周辺
▲当時と現在◀

支店）から南東を見る
▲当時と現在◀

▼女子てい身隊の防火訓練風景
―平塚市博物館市史編さん係所蔵―

▶当時の食事風景
―興津汪さん所蔵―

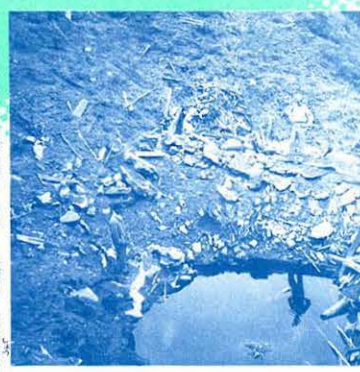
▼発見された投下爆弾（不発弾）



当時の写真は、米国国立公文書館所蔵の資料から入手したものです。

▲現・見附台体育館西側に建てられたバラック
（後方に海軍火薬廠の給水塔が見える。）

▼戦災後、すぐに建てられたバラック



▶B29の空襲の直撃を受けた海軍火薬廠のダイナマイト倉庫跡

夏期特別展

44万7,716本の軌跡

―平塚の空襲と戦災―

平塚大空襲50年・戦後50年にあたり、「平塚大空襲」の実態を戦中・戦後の資料を通して紹介し、平和の尊さを訴え、郷土平塚の近・現代史を明らかにすることを主旨とします。

▶**主催**　平塚市博物館
▶**後援・協力**　平塚の空襲と戦災を記録する会
▶**期間**　平成７年７月15日（土）～８月30日（水）
▶**会場**　平塚市博物館特別展示室及び常設展示室１階寄贈品コーナー
▶**展示コーナー**　①平塚の戦争―出征と戦地と死―　②軍都平塚―海軍の町平塚―　③戦時下の市民生活―国家総動員―　④平塚大空襲―準備された空襲―　⑤戦争と子供―巻き込まれた子供たち―　⑥市内の戦跡
▶**講演会**　８月13日（日）13時～15時、講師　栗田尚弥氏（お茶の水女子大学講師）、テーマ「戦争末期の湘南地区と平塚大空襲（仮題）、会場　博物館講堂　※参加自由
▶**戦跡見学会**　７月16日（日）・８月20日（日）、10時～12時、会場　市内各所、集合場所　博物館正面玄関前（10時）　※参加自由
▶**問い合わせ先**　平塚市博物館　電話33-5111

◀市民広島派遣
８月６日に広島市で開催される平和祈念式典にあわせて親子を派遣します。

◀市民のつどい〝平和灯ろう流し〟
８月16日に金目川の観音橋下川原で行います。

平和を願って

▶平和宣言塔
広く市の内外に核兵器廃絶平和都市宣言を広めるため市内の道路に設置しています。

▶市民キャンペーン
市民が多く集まる総合公園などで市民の手から手へと平和の尊さ、大切さを伝えるキャンペーンを行っています。

平和月間事業

今年も平和月間（７月15日～８月20日）の期間中、市民の皆さんと一緒に平和を考えるため、市や市民団体が平和に関する事業を実施します。

～皆さんでご参加を～

市が主催する平和事業

◆夏期特別展「44万7,716本の軌跡」―平塚の空襲と戦災―
日時　７月15日（土）～８月30日（水）９時～16時50分（ただし、入場は16時30分まで）
会場　平塚市博物館

◆「平和の本」特別展示
日時　７月15日（土）～８月20日（日）９時～16時50分
会場　平塚市中央図書館・北図書館・西図書館

◆平塚空襲の日市民キャンペーン
日時　７月16日（日）13時30分～
会場　平塚駅周辺
運営　I LOVE PEACE事業運営委員会

◆平塚空襲戦災記録写真展
日時　７月17日（月）～31日（月）８時30分～17時
会場　平塚市役所市民ホール

◆平和映画会
☆７月21日（金）15時から、「東京ヒロシマ子ども派遣団」
　会場　平塚市西図書館
☆７月30日（日）10時からと14時からの２回、「教えられなかった戦争」
　会場　平塚市中央図書館
☆８月４日（金）15時から、『つるにのって「とも子の冒険」』
　会場　平塚市西図書館
☆８月６日（日）10時からと14時からの２回、「ちいちゃんのかげおくり」
　会場　平塚市中央図書館
☆８月13日（日）10時からと14時からの２回、「十六地蔵物語」
　会場　平塚市中央図書館
☆８月18日（金）15時から、「みいちゃんのてのひら」
　会場　平塚市西図書館

◆広島長崎被爆写真展
日時　８月１日（火）～９日（水）８時30分～17時
会場　平塚市役所市民ホール

◆市民広島派遣―親子10組を広島市に派遣―
日時　８月４日（金）～６日（日）
運営　I LOVE PEACE事業運営委員会

◆市民のつどい〝平和灯ろう流し〟
日時　８月16日（水）18時30分～20時
会場　金目川観音橋下川原
運営　I LOVE PEACE事業運営委員会

戦時中の生活物品、記録文書などの資料の収集にご協力を！
▶連絡先　平塚市博物館
▶電話　33―5111

平和月間の事業についての問い合わせ先
市役所総務課　内線783

平成七年度平塚市平和推進事業協力団体（順不同）

○国連協会平塚支部
○平塚地区労働組合協議会
○平塚地区同盟
○平塚市地域婦人団体連絡会
○ガールスカウト平塚市連絡会
○非核平和ひらつか市民の会
○平塚市原爆被災者の会
○平塚湘南ライオンズクラブ
○平塚青年会議所
○国際ソロプチミスト平塚
○平塚市自治会連絡協議会
○水曜クラブ
○新日本婦人の会平塚支部
○平塚市老人クラブ連合会
○平塚市ＰＴＡ連絡協議会
○平塚南ロータリークラブ
○日本ユニセフ協会平塚友の会
○平塚市子ども会育成連絡協議会
○平塚市食生活改善推進団体ママの会
○平塚なでしこライオンズクラブ
○平塚しらさぎライオンズクラブ
○コープかながわ平塚行政区虹の会
○平塚市文化連盟
○平塚青年団協議会
○平塚市湘南ロータリークラブ
○平塚しらゆりライオンズクラブ

市民団体が主催する平和事業

♠平塚空襲のあとを歩こう―今も残る戦争のつめあと―
日時　７月16日（日）16時～18時
会場　平塚市中央公民館
主催　非核平和ひらつか市民の会・平塚母親の会
※雨天の場合は、米軍撮影のフィルム上映と体験談

♠'95ピースサイクル神奈川ネットワーク
日時　７月21日（金）13時40分～14時
会場　平塚市役所庁舎前ほか
主催　ピースサイクル神奈川ネットワーク事務局

♠ジョー・オダネル講演会「広島・長崎からスミソニアンへ」―米従軍カメラマンの50年―
日時　７月21日（金）14時～16時
会場　農業会館
主催　平塚YWCA

♠被爆者救援街頭カンパ
日時　７月26日（水）17時30分～19時
会場　平塚駅周辺等
主催　平塚地区労働組合協議会

♠被爆50周年原水爆禁止神奈川県平和行進
日時　７月27日（木）８時～13時
会場　二宮→大磯→平塚→茅ヶ崎
主催　平塚地区労働組合協議会

♠ユニセフ活動なつやすみ子どものつどい
日時　７月31日（月）（午前の部）10時～11時50分　（午後の部）13時30分～15時20分
会場　MNビル11階第２会議室
主催　日本ユニセフ協会平塚友の会

♠ユニセフ写真展「バングラデシュ・母と子」―貧困からの脱出―
日時　８月３日（木）～８日（火）９時30分～18時
会場　市民プラザ
主催　日本ユニセフ協会平塚友の会

♠平和映画会「ひめゆりの塔」の上映と平和パネル展
日時　８月３日（木）18時から
会場　平塚市民センター大ホール
主催　平塚地区労働組合協議会
※有料

♠被爆50周年記念事業「平和のための原爆展」
日時　８月４日（金）～６日（日）10時～19時（ただし、６日は17時まで）
会場　平塚市中央公民館２階ギャラリー
主催　平塚市原爆被災者の会

♠第10回反核平和駅伝大会
日時　８月６日（日）12時～15時
会場　藤沢→茅ヶ崎→平塚
主催　新日本体育連盟湘南地区連盟

♠絵本「わすれないあの日」原画展―大牟田空襲―
日時　８月15日（火）～19日（土）10時～17時（ただし、15日は11時から）
会場　平塚市中央公民館２階ギャラリー
主催　非核平和ひらつか市民の会・平塚母親の会
※「出版記念のつどい」も次のとおり開催します
　８月15日（火）15時～19時　作者・三代沢史子さんのお話など

♠四之宮地区平和祈念祭
日時　８月15日（火）11時50分～15時
会場　前鳥神社慰霊碑前
主催　四之宮地区自治会連合会

♠国際理解・国際協力のためのポスター・作文コンテスト作品展示会
日時　８月18日（金）～22日（火）10時～19時
会場　市民プラザ
主催　国連協会平塚支部